

議会活動

興味を持ってもらえる 広報づくりを

議会広報編集委員会研修

5月24日(火)に斉藤委員長ほか3名が、新聞を使った研修プログラム「東奥日報ビジネスセミナー」研修を青森市の東奥日報新町ビルで三浦博史販売局長兼N・E・N・B推進部長から紙面作りのルールなど取材経験を基に話され、町民から興味を持ってもらえる見出しのつけ方などを学んだ。

また、翌25日(水)には県町村議会議長会主催の研修会

にも参加し、議会広報サポーター芳野政明氏による「住民に読まれ議会活動が伝わる」を聞き、編集の基本を学んだ。



▲東奥日報ビジネスセミナー研修



▲町村議会広報研修会

県外視察研修 (岩手県紫波町)

7月12日(火)

農村と都市のいいとこ取りで「ゆとり」と「べんり」のいろいろを兼ね備えているまち岩手県紫波町の「オガール」を亀川議長ほか10名の議員が視察した。

紫波町は盛岡市の南に位置する人口約3万3千人の町。過疎化や高齢者対策などの問



題に対して先進的な取組を行うことでも知られる自治体で、なかでも民間の力を活用した「オガールプロジェクト」は、PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)。公民が連携して公共サービスの提供を行うスキームのこと)の成功例として、全国の自治体から視察が絶えないほど大きな注目を集めている。

かつて町が公共施設用地として買い取った10・フヘクタールの土地が数年間手つかずで雑草だらけになっていた土地を、藤原前町長のリーダーシップとPPPを担うキーマン岡崎氏により、町は公民連携基本計画を策定した。

オガールプロジェクトの目的は「町民の財産である町有地を安売りしない」であり、まちづくりは「一人」ではなく「不動産」、付加価値をつけ



れば価値そのものを増大させられる、をコンセプトに進められ、不動産開発においても民間的発想である「経済の循環を重視」し、リスクの少ない安定事業として行ったとのこと。

民間主導でスピーディに公共事業を進め、1つに集約したまち、統一感のあるまちを作り出した「オガールプロジェクト」は、僅か10年ほどでここまで整備したことに驚嘆した。

事業の手法や関係者の意識



※オガールプロジェクトの「オガール」とは、成長を意味する紫波の方言（津軽弁でも同じく「おがる」と「駅」を意味するフランス語「Gare」(ガール)を合わせた造語で、紫波中央駅前を「紫波の未来を創造する出発駅」とする決意と、持続的成長と、民間の資金や能力を導入し、地域の課題解決等を推進する事業。お役所言葉にすると、「紫波中央駅前都市整備事業」これがオガールプロジェクト。

等オガールとの差はあるが、まちづくりに対する熱い思いだけは持ち続け、深浦町のまちづくりに活かして行きたい。



▲政治ジャーナリスト 田崎史郎氏

研修会は、青森市で開催され、亀川議長ほか10名の議員が参加した。講師に多数のテレビ番組に頻繁に出演している政治ジャーナリストの田崎史郎氏が、政治記者43年間ど



▲県下町村議会議員研修会（青森市）

うやって人脈を築いて多数の政治家と接触してきたか、参院選の総括、安倍元首相の人を動かす力、岸田首相の政権の行方など昨今の政治について話された。

県下町村議会議員研修会

7月13日(水)

「青森県知事講演会」

西北津軽郡議会議長会主催

7月22日(金)に板柳町で開催された西北津軽郡議会議長会主催の「青森県知事講演会」に亀川議長ほか7名の議員が出席した。

「攻めの農林水産業」と題した三村知事による講演では、青森県のきれいな水、健康な土、高い志と確かな技術を持った生産者、基本中の基本である「水」「土」「人」の3つの基盤づくりを未来へとつなげることや、売れるものを作る「農林水産業の収益力アップ」の流通・販売、労働力不足への対応、経済を回すため国内外から認められる付加価値の高い産品づくりを進めているなど計画の思いが語られた。

また、世界人口は増え所得水準がもつと上がると見据えたり、冷凍技術の向上など、青森県の農林水産業は、まだまだ攻めるところがあると、今後果敢に「攻めまくる」と知事は熱く話していました。



▲三村申吾県知事



視察調査（議会運営委員会）

タブレット端末導入に向けて

議会では、タブレット端末導入に取り組むに当たり、導入に至るまでの経緯など県内の先進自治体の状況を調査するため、既にタブレットを導入し活用している中泊町議会と青森市議会を視察した。

7月25日(月)、令和元年度に県内町村初として、タブレット端末を導入している中泊町議会、26日(火)は、青森市議会へ赴き、導入に至るまでの経緯、導入後の本会議等における活用など、実際に使用

しているタブレットを用いながら説明をいただいた。この視察調査を振り返り、委員からは「タブレット端末へのイメージが湧いた」「使い勝手がいい」などの声と「使いこなせるのかどうか」といった不安の声があった。

今後、深浦町議会におけるタブレット端末導入に向けて積極的に取り組んでいきたい。

参加者 斉藤 登副委員長、工藤博利委員、今勝吉委員、亀川肇議長



▲中泊町議会を視察した様子



▲青森市議会を視察した様子

議会運営委員会

5月31日(火)

調査事項

- 1 深浦町議会118回定例会の日程について
- 2 陳情について
- 3 閉会中の継続調査及び審査の申出について
- 4 その他

総務文教常任委員会

5月18日(火)

所管事務の調査

閉会中の継続調査

- 1 地域医療体制の確保について
 - 2 人口減少対策について
 - 3 財政状況の見通しについて
 - 4 議会基本条例について
 - 5 総務文教常任委員会が所管する事項について
- 付託案件の審査
- 1 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情
 - 2 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書

を提出いただきました件

産業建設常任委員会

6月3日(金)

所管事務の調査

- 1 水産試験事業の追跡調査について
- 2 産業建設常任委員会が所管する事項について

議会広報編集委員会

6月27日(月)

議会広報第70号の編集について

8月1日(月)

議会広報第70号の編集について



広報編集委員会

委員長 斉藤 登

委員 今勝吉 岩根 環 岩谷 司

(発行者) 議長 亀川 肇

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号(代) 74-2111(内202)
(直) 74-4418